

評価の観点	成長の実感	単元	後期メイン活動 振り返り (1年生)
本時のねらい	学級スローガンを視点を後期メイン活動の取組を振り返ることを通して、個や集団の成長に気付き、大切にしてきた気持ちを明らかにすることができる。		

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

【手立て①：指導への見通しをもつため計画の作成】

日程	生徒の意識	目録	価値づける事実	部員や企画委員の動き	教師の手立て
10月23日(火)	今日は後期メイン活動の初日だ。先週までに確認してきた動きを実行しよう。	Aさん	【企画委員として】 まきは委員として、率先して声かけ、メイン活動の雰囲気を作り上げている。	朝の会のとき、展開表を記入し、願いを確実にもたせる。合唱前に、その日大切にしたい視点を確認する。	朝の時間に企画委員会を設け、一日の動きの確認を議員、文化部員、整美部員と一緒にやる。
10月24日(水)	昨日はメイン活動初日で、確認したとおりに動くことができた。今日もそれを続けていこう。	男の子	【委員として、部長として】 企画委員でもあり、部長でもあるBさんが、「こんな掃除にしたい」と願いをもち水通場を雇っている様子。	「こんなところを、こんなにまできれいにしたい、という願いを一人一人がもてるように、計画会を運営する。」	「掃除の時間は充実しているか」と班長を通して班長に働きかけさせることで、掃除の動きを明確にしている。

・個や集団の高まりを的確に捉え、生徒一人一人のよさを自覚させるためには、指導を意図的に行う必要がある。そこで、後期メイン活動の目指す姿につながる教師の手立てを位置づけた指導計画を作成した。「生徒の意識」「価値づけたい生徒」「価値づける事実」「部員や企画委員の動き」を見通し、高まりを意図的に生み出させるための教師の手立てを事前に計画した。この計画をもとに、議員と学活の出口について話し合い、「考えたいこと、明らかにしたいことは何か(議題)」、「誰の、どんな姿や想いを取り上げたいか(抽出生徒、意図的指名)」を中心に打ち合わせた。特に議題については、「後期メイン活動を終えた今だからこそ」話し合える内容であるかどうかを常に考えさせた。

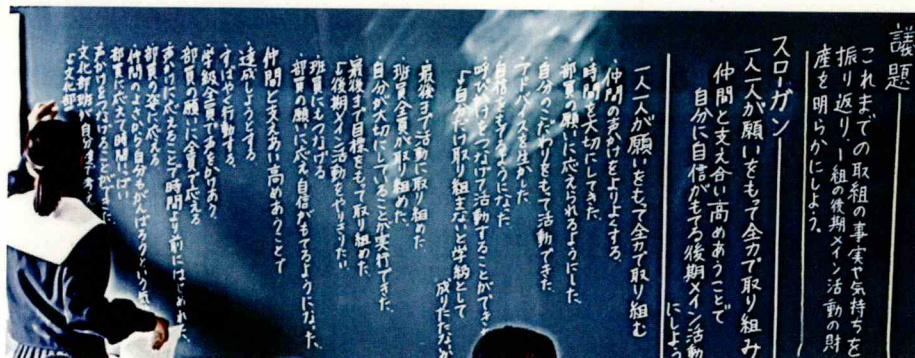
【手立て②：個や集団の高まりを捉えるための短学活の活用】

・個や集団の高まりの要因を的確に捉えさせるために、毎日の短学活を活用した。一日の始めに企画会委員会を行うことで、頑張っている仲間や頑張ろうとしている仲間など、価値付けたい姿を交流することで、視点をもって仲間の姿を見たり、サポートさせたりした。短学活では、企画委員が価値づけたい仲間の姿を焦点化した話し合いを進行することで、仲間の想いを知ることが周りの生徒の刺激となり、「〇〇さんのおかげで」「〇〇さんの想いに共感して」など、自己の変容の理由を実感することができた。その繰り返のおかげで、振り返りの時間では、自信をもって自分の成長や仲間の成長を話すことができるようにした。

【手立て③：話し合いに対する評価、助言】

・価値付けたい仲間の姿の裏にある想いを書記による板書や議員・教師の問い返しによってつなげて考えていくことで、なぜ、自分たちは成長することができたのかを明らかにした。生徒たちは自分たちの手で諸活動をよくしていこうとしている、という「自治的な活動への参画」という意識を教師の話の中で位置付けていくことで、取組や話し合いによって自分たちが前に進んでいるという実感をもたせた。

<板書、生徒の作品、ノートなど>



本時のねらい

後期メイン活動で1組が目指す姿を視点に、取組を振り返ることを通して、個や集団の成長を確かめ合い、他の日常活動にも生かしていこうとする気持ちを明らかにする。

本時の展開

生徒の活動	指導と評価						
<p>1 議員より開会を宣言し、本時の議題を確認する。</p> <p>後期メイン活動を通して、自分や仲間の全力の姿を認め合い、なぜできたのかを明らかにすることで、他の日常活動にもつなげられる話し合いにしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 議員、部員、書記が、取組の成果を明らかにできる話合いの仕方について事前指導する。 						
<p>2 後期メイン活動に対する部員（生活、整美）の気持ちを聞く。</p> <p>・後期メイン活動を通して、1組ができるようになったことはたくさんある。それは、みんなが自分から挑戦できるように考えて取り組み続けてきた部員のAさんが、嬉しそうに語っている姿から伝わってくる。みんなの中に生まれた気持ちを確かめ、1組がこれからも大切にしたい生き方を明らかにしていきたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取組の中心となった生徒に気持ちを語らせることで、個人や学級の成長を実感させる。また、なぜそのような気持ちにさせることができたかを考えさせる。 						
<p>3 目指す姿を視点に、自分や仲間の具体的な事実をもとに話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>・「目標をもって自分から挑戦」「仲間の頑張りを支え、認め合う」の二つの視点から、自分や仲間の頑張りを認め、頑張った気持ちや見た際の気持ちを聞いたり語ったりする。書記は事実と位置付ける。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>・議員は事実や気持ちを明らかにする問い返しを行ったり、同じ気持ちで頑張れた仲間の話と話を広げた気持を明らかにしていく。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>黒板の例</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">後期メイン活動振り返り</td> <td style="width: 15%;">めあて</td> <td style="width: 15%;">議題</td> <td style="width: 15%;">学級スローガン</td> <td style="width: 15%;">生活部</td> <td style="width: 15%;">整美部</td> </tr> </table> </div>	後期メイン活動振り返り	めあて	議題	学級スローガン	生活部	整美部	<ul style="list-style-type: none"> 個人目標を振り返る時間を事前にとり、目標に向かって自分から挑戦できたのはなぜかを振り返らせることで、自分の高まりを実感させる。
後期メイン活動振り返り	めあて	議題	学級スローガン	生活部	整美部		
<p><後期メイン活動で目指す姿></p> <p>(個人) 目標に自分から挑戦することで、やってよかったと思える活動にしよう。</p> <p>(集団) 仲間と願いを共有し、仲間の頑張りを支え、認め合える仲間になろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 姿だけでなく、気持ちの面の成長に広めるために、議員が問い返したり、取り上げたい生徒を企画委員と事前に打ち合わせたりしておかせる。 						
<div style="display: flex;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「目標をもって自分から挑戦」</p> <p>・私は「毎朝、みんなに聞こえる声の大きさで挨拶をする。」という目標をもって活動しました。始めは恥ずかしかったけど、大きな声で仲間に挨拶をすると、仲間の挨拶も自然と大きくなって、すがすがしい気持ちになりました。これからは学級の仲間に限らず、学年や全校にも広げていきたいです。</p> <p>・私は「担当の掃除場所を、自分が納得できるまで美しくしたい。」という願いをもって活動できました。時間一杯掃除した後、美しくなった掃除場所を見ると、自然と達成感が湧いてきました。だから、もっと美しくしようと考えて動いていきたいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「仲間の頑張りを支え、認め合う」</p> <p>・私は、「互いに気持ちのよい挨拶をしたい」と願い、挨拶する時に視線を合わせることを大切にしました。気持ちのよい挨拶ができて満足していたけれど、Bさんの元気な声を聞いて、私もやりたいと思いました。やってみると、さらに気持ちよく挨拶できたので、これからも大切にしたいです。</p> <p>・私は、「誰もが美しいと思える掃除」をしたいと願って、床を雑巾が黒くなるまで磨きました。私が頑張っていると、班の仲間も頑張るようになって、みんなで掃除場所を美しくできてうれしかったです。これからも互いに高め合うことを大切にしたいです。</p> </div> </div>	<p><問い返し方の例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 「なぜ行動できたのですか?」 「なぜ成長できたのですか?」 <p>※気持ちが語れるよう問い返す</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 教師が学級に位置付けたい生徒の頑張りを取り上げて共有したり、同じ気持ちで頑張った生徒の話も共有したりして、広めていく。 						
<p>私は、後期メイン活動の取組の挨拶でも掃除でも私は成長しようと思えることができた。それは、すがすがしい挨拶を返してくれたり、美しい環境にしよう自分から工夫したりする仲間がいたからだ。他の活動でも「もっと」を目指して、良いと思った活動に自分から取り組んでいきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの中で、書記に共通する気持ちに線を引かせたり、どの子にも生まれていた気持ちをつなげさせたりすることで焦点化し、後期メイン活動の財産を明らかにさせる。 						
<p>4 出された意見をまとめ、今後も大切にしていきたい気持ちを明らかにする。</p> <p><後期メイン活動の財産></p> <p>もっとを目指して、良いと思った活動に自分から挑戦する想い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 後期メイン活動の財産を他の活動でも生かしていけるように議員に、学級目標と絡めて語らせる。 						
<p>5 議員による本時の話し合いの評価を行う。</p>							
<p>6 教師の評価を聞く。</p> <p>・後期メイン活動で成長することができた自分に自信をもち、その気持ちをこれからの日常活動に生かしていくことで、学級目標の達成に向かっていく。</p> <p>後期メイン活動での一人一人の成長した姿やその姿を生み出した気持ちを確かめることができた。それが、1組や自分の成長なんだ。この活動で確かめた気持ちをこれからの日常活動でも大切にしていきたい。</p>	<p>評価規準</p> <p>後期メイン活動の取組で成長した姿とその気持ちの変容を認め合い、他の活動でも生かしていこうという気持ちを明らかにしている。</p>						
<p>7 議員により閉会を宣言する。</p>							

評価の観点	思考・判断・表現	単元	前期メイン活動 中間振り返り (2年生)
本時のねらい	学級スローガンを視点に、前期メイン活動前半の取組を振り返ることを通して、個や集団の成長に気づき、さらに活動の質を高め、成長していくために、後半の取組で大切にしたい想いを明らかにすることができる。		

<主体的・対話的で深い学びにつながる指導について>

【手立て①：8日間のストーリーとゴールを明確にしたプランニング】

学級活動では、「生徒の意識の流れと取組直後の意識」「価値付ける生徒の効果的な順番」「価値付けるべき事実や想い」「リーダーとフォロワーの関わり」「教師の手立て」を事前にプランニングすることが大切である。そうすることで、毎回の話し合いでは、「目指すべきゴール(学活のねらい)」「考えたいこと、明らかにしたいこと(議題)」「取り上げたい仲間の姿と想い(意図的指名)」「考えるための方法(話し合いの形態、手立て)」が明確になる。話し合いに向けた生徒との打ち合わせでは、教師と共に生徒にも見通しをもって話し合いに向かわせることができた。

日程	生徒の意識	担当	価値付ける事実	委員や企画委員の動き	教師の手立て
5月18日(火)	今日は前期メイン活動の初日だ。観念の達成を目指して頑張りたい。	委員長 松本	【企画委員として】企画委員として、前期活動や給食配当の準備、準備を進めることなど、まだできていないこと、準備ができていないこと、準備ができていないこと。	生活委員は、まず2分前着席を仲間に働きかける。給食委員はタイムを有効に活用し給食配当が準備し行われるよう見守る。	朝の時間に企画委員会を設け、一日の動きの確認を生徒と一緒に行う。
5月19日(水)	昨日は企画委員や部長がたくさん声をかけてくれた。今日は、自分ができることを考えて行動しよう。	部長 松本	【前期活動振り返り】前期活動振り返り、大きな声で呼びかけている。声をかけないでいる仲間が、仲間を呼ぶよう促す。	企画委員は前日同様、大きな声で呼びかけている。声をかけないでいる仲間が、仲間を呼ぶよう促す。	企画委員に、「自分の声を聞いて、つないでくれる仲間」に目をつけるよう指導する。
5月20日(木)	だんだんと仲間の声が増えてきた。自分も声をかけよう。今日は、3組の活動が「話し合い」なのか、先週の活動が「話し合い」なのか、確認しよう。	部長 松本	【話し合いの質を高める】話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	企画委員はそれぞれの成長に働きかけ、職員がどのように動くべきかを職員に伝える。	企画委員から成長がどのように動くべきかを職員に伝える。職員がどのように動くべきかを職員に伝える。
5月21日(金)	話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	部長 松本	【話し合いの質を高める】話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	企画委員はそれぞれの成長に働きかけ、職員がどのように動くべきかを職員に伝える。	企画委員から成長がどのように動くべきかを職員に伝える。職員がどのように動くべきかを職員に伝える。
5月24日(月)	話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	部長 松本	【話し合いの質を高める】話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	企画委員はそれぞれの成長に働きかけ、職員がどのように動くべきかを職員に伝える。	企画委員から成長がどのように動くべきかを職員に伝える。職員がどのように動くべきかを職員に伝える。
5月25日(火)	話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	部長 松本	【話し合いの質を高める】話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	企画委員はそれぞれの成長に働きかけ、職員がどのように動くべきかを職員に伝える。	企画委員から成長がどのように動くべきかを職員に伝える。職員がどのように動くべきかを職員に伝える。
5月25日(水)	話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	部長 松本	【話し合いの質を高める】話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	企画委員はそれぞれの成長に働きかけ、職員がどのように動くべきかを職員に伝える。	企画委員から成長がどのように動くべきかを職員に伝える。職員がどのように動くべきかを職員に伝える。
5月27日(木)	話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	部長 松本	【話し合いの質を高める】話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。話し合いの質を高める。	企画委員はそれぞれの成長に働きかけ、職員がどのように動くべきかを職員に伝える。	企画委員から成長がどのように動くべきかを職員に伝える。職員がどのように動くべきかを職員に伝える。

【手立て②：自己有用感を高める対話的な学び】

話し合いでは、姿(事実)だけでなく気持ち(願いや想い)にまで迫って考えること、その気持ちを全体で共有することを大切にするために、司会者への事前指導を行った。「活動の中で見つけた自分や仲間のよさ」について意見交流をする中で、右図のやりとりを通して、BさんはAさんや学級全体に自分のよさを認められ、Bさんの自己有用感を高めることにつながった。さらに、BさんはAさんや学級の仲間のよさを認めようとした。対話的な学びがこうした「人間関係形成」を促し、互いに自己有用感を高め合う関係への契機となった。

Aさん「Bさんの〇〇という姿から、～～という気持ちを感じた。」

↓

司会者「Bさんはどんな気持ちから〇〇をしたのか。」

↓

Bさん「それは△△という気持ちがあったから。」

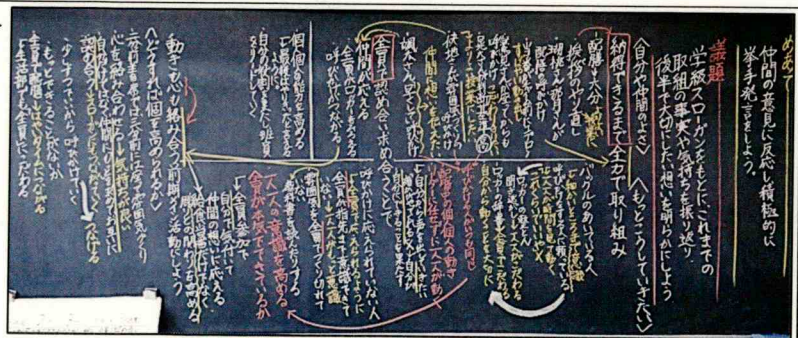
↓

司会者「皆さんは、Bさんの気持ちを聞いて、どう思ったか。」

【手立て③：深い学びにするために】

生徒会活動の前期メイン活動は、「組織的な動きを学び、確立する」という位置付けである。手がかりとなるのは、学級目標であり、それをもとに生徒が作成した前期メイン活動の学級スローガンである。そこで、常に学級スローガンに立ち返らせる指導を行った。本時の話し合いでは、学級スローガンにある「納得できるまで全力で」「全員で」に関わる意見が多く出され、それらを大切にしていることを再確認した。そして取組後半は、それらのキーワードを大切に取り組み続けることで、ゴールとする「動きや心が絡み合う」状態にぐっと近づくことを学級全体で共有した。生徒の姿や言葉から目指す方向性を明らかにすること、視点を絞って誰もが分かりやすい話し合いにすることが大切であり、深い学びにつながった。

<板書、生徒の作品、ノートなど>



本時のねらい

学級スローガンを視点に、前期メイン活動前半の取組を振り返ることを通して、個や集団の成長に気付き、さらに活動の質を高め、成長していくために、後半の取組で大切にしたい想いを明らかにすることができる。

本時の展開

生徒の活動	指導と評価
<p>1. 議員より開会を宣言し、本時の議題を確認する。</p>	
<p>今日は前期メイン活動の中間振り返りを行います。学級スローガンをもとに、これまでの取組の事実や気持ちを振り返り、後半で大切にしていきたい想いを明らかにしましょう。</p>	<p>○議員、部員、書記と話し合いを進める時の視点を事前に確認しておく。</p>
<p>2. スローガンを視点に、前期メイン活動の取組前半について、意見交流する。</p>	<p>○学級スローガンに込めた願いを再度確認してから、話し合いを始める。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>納得するまで全力で取り組んだことが自信となつた。しかし、まだ「全員」ではない。動きだけだけでなく、心も絡み合うために議員や部員の願いを聞き、よりよさを求めていこう。そうすれば、学級目標に近づけるはずだ。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>議員は、事実やそこに込めた気持ちを明らかにする。同じような気持ちで取り組んでいる仲間について尋ねたりして、一人一人に共通する気持ちを明らかにする。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>「納得できるまで全力で取り組む」、「全員で認め合い、求め合うこと」の二つの視点から、自分や仲間の成長とそこに込めた気持ち、もっと何をしたいかを語る。書記は事実とそこに込めた気持ちを色分けして黒板に位置付ける。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>「納得できるまで全力で取り組む」、「全員で認め合い、求め合うこと」の二つの視点から、自分や仲間の成長とそこに込めた気持ち、もっと何をしたいかを語る。書記は事実とそこに込めた気持ちを色分けして黒板に位置付ける。</p> </div> </div>	<p>○学級スローガンの「納得できるまで全力で取り組むこと」「全員で認め合い、求め合うこと」をもとに、これまでの取組の具体的な事実とそこに込めた気持ちを語らせることで、成長を実感させる。</p> <p>○「なぜそのように努力することができたのか。」と問うことで、部員の願いに応えようとする自分の気持ちに気付かせる。</p>
<p>前期メイン活動スローガン</p>	
<p style="text-align: center;">納得できるまで全力で取り組み、全員で認め合い、求め合うことで、動きや心が絡み合う前期メイン活動にしよう</p>	
<div style="display: flex;"> <div style="width: 45%; border-right: 1px solid black; padding-right: 5px;"> <p>「納得できるまで全力で取り組む」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活部班が示した基準を常にこえられるように、机列やロッカーを整えることができた。いつでも、どこでも、誰もが美しいといえる環境をつくることができた。 私は給食当番ではないが、効率的な配膳をするために、給食当番の机を移動させたり、配膳リレーを手伝ったりすることができた。自分にできることを考え、全力で取り組むことができた。 自分のできることを考えて取り組んではいるが、納得できるものか分からない。私ならもっとできると思う。 </div> <div style="width: 45%; padding-left: 5px;"> <p>「認め合い、求め合う」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活部員のAさんは、全員分のロッカーや机列を確認して仲間に整頓するよう何度も呼びかけていた。だから、Aさんの願いに応えようと、みんなで努力することができた。ここまで成長できたのは、Aさんのおかげだ。 給食部員のBさんは、もっと効率のよい配膳をしようと、常に大きな声で呼びかけたり、作戦を立てたりしていた。だから、Bさんの願いに応えようと、自分や仲間にもっとできることはないかと考えて、自分から行動したり仲間に求めたりすることができた。 動きは絡み合っているが、まだ「全員で」とは言えない。心も絡み合うために、「全員で」にこだわりたい。 </div> </div>	<p>○AさんやBさんの努力を知っている仲間に「AさんやBさんの姿を見てどう思ったか。」と問う。そして、AさんとBさんに「みんなの意見を聞いてどう思ったか。」と問いかけることで、自己有用感をもたせていく。</p> <p>○「どうしたら『全員で』の取組になるのか。」と問う。そして、部員に願いを語らせ、大切にしていきたい想いを共有していく。</p>
<p>取組前半を通して、私や3組は成長することができた。これは、議員や生活部員、給食部員の願いを受けて、一人一人が納得できるまで全力で取り組むことができたからだ。全員で納得できるまで全力で取り組めば、きっと私たちならまだまだ成長できる。心も絡み合うことができるように、議員や部員の願いを大切に、よりよさを求めて、更なる成長を遂げたい。</p>	
<p>3. 議員が本時の話し合いの評価をし、それを聞く。</p>	
<p>・めあてに関わって、〇〇さんは納得するまで全力で取り組み続けた自分の願いや、大切にしてきた想いを素直に話せていた。こうやって想いを共有していくことで、みんなが高まっていけると思う。</p>	
<p>4. 教師の評価を聞く。</p>	
<p>・「自分のできること」だけをやってきたみんなは、今では「全員で」「納得できるまで全力で」やりきろうとしている。4月からの歩みがみんなを成長させている。</p> <p>・取組後半は、共有した想いを大切に取り組み続けることで、自分や仲間の更なる成長を実感して、学級スローガンの達成をめざそう。それが、学級目標の達成に近づくはずだ。</p>	
<p><生徒の意識></p>	<p>評価規準</p> <p>取組前半に対して、納得できるまで全力で取り組んだ事実やその気持ちを交流することを通して、個や集団の成長に気付き、後半の取組でも活動の質を高め成長につなげていこうとする意欲をもつことができる。</p>
<p>前半の取組での姿やその姿を生み出した想いを確かめることができた。それが、3組や自分の成長なんだ。取組後半は、「全員で納得するまで」を大切に、心が絡み合うよさを実感したい。</p>	
<p>5. 議員より閉会を宣言する。</p>	